

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">会 議</div> ・打合せ・協議	文書番号	上富総務第 809 号-118-
		決裁期日	令和 5 年 11 月 14 日
名 称	第 3 回特別職報酬等審議会		
日 時	令和 5 年 11 月 10 日(月) 13 時 20 分～14 時 30 分		
場 所	役場庁舎 3 階 第 3 会議室		
出席者	町長（審議終了後、答申受領時）、委員 9 名（欠席：長田委員） 事務局 北川総務課長、谷総務班主幹、小野総務班主査		
内 容	<p>■議案(要点抜粋)</p> <p>1 報酬等の状況について</p> <p>稲毛会長：あらかじめ送付された資料について、事務局から説明願う。</p> <p>谷主幹：前回と前々回と審議いただいた内容について、特別職及び議会議員の報酬額の改定後の状況をまとめた。町長、副町長及び教育長は、給与月額を据え置き。議会議員のうち常任委員長については2,000円増の19万1000円とする。期末手当については、月数を特別職及び議会議員を一律、町職員と同様の4.4月、加算率も職員同様の0.15とするということとすることでご審議いただいた。</p> <p>答申内容について読み上げさせていただく。</p> <p>稲毛会長：事務局の方から説明あったが、ご質問・ご意見をお願いします。</p> <p>中村委員：(2)の3行目の括弧書きの現行の表記について、4月を4ヶ月にしてはどうか。</p> <p>稲毛会長：皆さんよろしいか。</p> <p>全員：異議なし。</p> <p>稲毛会長：では2の審議会開催状況について、3の審議会経過及び内容についてはどうか。</p> <p>中村委員：上川管内の19町村、それから8000人から9000人規模の6町と具体的に表記してはどうか。</p> <p>稲毛会長：異議はないか。</p> <p>全員：異議なし。</p> <p>稲毛会長：では最後に4の終わりについて、何か意見はないか。</p> <p>中村会長：(3)のウの常任委員長の報酬の関係ですが、なぜ上げられるのか、他が据え置きというものもあるが、所管業務が常任委員長は大変ではある、町内の各種団体から案内や場合によっては、あいさつする機会がある。その表記を加えてはどうか。</p>		
			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">次のページ</div>

内 容

特に委員会中心で議会が運営されているので。

加藤委員：この答申の中に具体的な案件を入れる必要があるのか。議員活動、委員会活動の範中で考えるとかで良いのでは。

江島会長代行：特別にそこまでする必要はない。

西木委員：案のとおりで、細かく書かなくてもよい。

杉本委員：案のとおり。

大野委員：答申の中で議員間の調整業務と記載しているので、案のとおりで。

菊地委員：委員長だけ特別に取り上げる必要はない。

菊池委員：原案のままで良い

稲毛会長：答申の中で議員間における調整の文面があることから、具体的な表記は必要ないとの意見が大多数。答申案のままでよろしいか。

谷主幹：1点修正させていただきたい。(1)番の特別職の報酬等について、「特別職においては常勤職であることからこの職務と責任に見合う給料が求められるところである」の表記を、「年収ベースでは中位に位置していることから、給与月額については据え置きが妥当と判断する」で修正したい。

稲毛会長：事務局から、2ページ目の(1)の特別職の標記の修正があったが、よろしいか。

全員：異議なし

稲毛会長：おわりの文言について、意見を伺いたい

中村委員：2行目の賃上げが8割以上の企業で実施の表記について、大企業中心の部分があること、議員の報酬のあり方についても、議員定数と合わせて引き続き議会みずからの議論に期待するところである部分ですが、昨年特別委員会を作られ、6回開催されていることから、特に何もしていないわけではない。6月の定例議会及び7月の議会広報に掲載されている。報告について、総務課長は承知しているか。

北川課長：議会に出席している。承知している。

中村委員：報告書の最後に、議員の報酬の決定については、町長が特別報酬審議委員会を諮問し、議論の上、答申を経て方向性を示されていることから、特別職報酬等審議会では、客観的な判断を行っていただきつつ、今回調査した特別委員会の報告書、参考にしていただきたいと書いてある。その報告があったけども、今後もういふ形で書き加えた方がよいのでは。

北川課長：報告書の参考の部分について承知しているが、まとめでは、ある程度方向性を出した形で最後まとめてある。それが先入観になり、審議が偏ったら困るので、あえてそれは今回だしていない。

稲毛会長：まず、賃上げが8割以上の企業で実施の文面について、削ってよろしいか。

谷主幹：引き続きからの文面ですが、これまでも実施されていることから、「議員定数と合わせ、これまで同様、議会みずからの議論に期待するところであります」と修正を提案したい。

稲毛会長：事務局から提案あったが、よろしいか。

次のページ

全員：異議なし

中村委員：審議会の2年を目途にところですが、前回の答申では定期的にとの言葉を使用されている。最終的に諮問するかは町長の権限だが、2年の区切りをつけるよりは、前回の答申と同じように定期的に言葉のほうが適切ではないか。

稲毛会長：「2年を目途に検証」を「定期的に検証する」との意見だが、どうか。

江島会長代行：事務局の考えは。

北川課長：今回は5年ほど空いてしまったが、今でも概ね2年を目途に開催していた経過がある。

加藤委員：時代の変化が激しいと想定するならば、2年は妥当な線と考える。

稲毛会長：今いただいた意見で変更し、答申することによろしいか。

稲毛会長から斉藤町長への答申書手渡し後

斉藤町長：皆様お疲れ様です。諮問内容を皆様にご審議いただき、本日答申を受けた。

答申内容は非常に重いものと受けとめ、答申に沿って今後手続きを進めてまいります。

今回、5年ぶりに特別職等の報酬をご審議いただいた。コロナがあけ、賃上げもある、議員の担い手の問題など、考慮されたものと想像している。長期間にわたりご審議いただき、感謝申し上げます。

内 容